

目 次

I.	総会	
1)	平成27年度定時総会	2
2)	平成27年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
1)	理事会審議議題	7
2)	会員定例会審議議題	10
3)	宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会 総務・経理合同部会、国際部会の開催	12
4)	外国映画通関連絡協議会の開催	13
5)	外画宣伝部長会の開催	13
III.	主な事業活動の報告	
1)	外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の 広報活動に関する事業	14
2)	外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した 団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	14
3)	国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促 進、保存及び特殊上映に関する事業	17
4)	外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技 術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
5)	映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に 関する事業	20
6)	輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関す る事業	22
7)	前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事 業	22

一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

I. 総会

1) 平成27年度定時総会

平成27年度定時総会が以下の通りおこなわれた。

開催日時： 平成27年6月5日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成26年度事業報告、決算報告ならびに平成27年度事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事迫本淳一、理事長澤修一、理事林瑞峰、理事杉山章、理事村田嘉邦、理事大藏満彦、理事和崎信哉、理事長瀬文男、理事升本喜郎の9氏の選任が承認された。

又監事の任期満了に伴い、監事中雅俊、監事八代英彦の就任が承認可決された。

2) 平成27年度事業計画

平成27年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が、平成27年4月1日より同28年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下において邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。

また一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を諮り、映画産業全体の発展に寄与していく。

(1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年度に配給公開された輸入外国映画の年度別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

①年間外国映画統計資料

平成元年より各年度に配給公開された輸入外国映画作品について『外画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。

また外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接の聞き取り調査により、年間興行収入ベストテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

（２）外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通して公表する。

優秀外国映画輸入配給賞

この賞は、年間を通じて作品的に優秀でなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員８名が厳正な選考の上、最優秀賞をはじめとして各賞を授与する。

（３）国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

①トーキョーシネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。シンポジウム、トークショー、試写会を通じて、一般の方々や劇場関係者およびマスコミに対して発信し、映画観客の増大と日本の映画産業の発展に大きく貢献することを目的とする。

②「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟及びモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとしてこれまで「夫婦50割引」「高校生友情プライス」等の入場割引サービス等を行ってきた。同実行委員会としては、より多くのファンが映画に触れる機会を増やすため、今年も夏と秋に大々的にキャンペーンを実施する。さらに全国上映劇場の上映時間のデータベース化を促進し、インターネット及び携帯電話での上映時間検索システムを充実させていく他、YAHOO!との連携によりPCでの予告編サイトを拡充し、観客の利便性を向上させる。本年度は新たにツイッター社との取組みを、年間を通じて行った。【映画ツイートデイ】キャンペーンと称し、3月1日から「毎月1日は映画ツイートデイ」として「映画館に行こう！実行委員会」HPや劇場での告知を利用し、ムビチケ・プレゼントを毎回行う事で、観客の参加意欲を煽り、話題作の揃う夏季等の繁忙期にはかなりのツイートがなされた。又キャンペーンにはカメラ男も登場し話題となった。本年2月で1年のキャンペーン期間を終え、今後様々な角度から分析・改良を加えて行き、一層効果的なキャンペーンとなるよう研究していくこととなった。

③優秀外国映画の保存

東京国立近代美術館フィルムセンターと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産としてフィルムセンターに寄贈する努力を行う。

④副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴える催しを後援していく。

(4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカをはじめとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

①映画産業交流会

年1回モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催する。

②映画技術革新セミナー

近年の映像デジタル化による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナーの開催、技術研究会などに協力していく。

③外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、本年もこの研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に最新の映画・映像技術の情報を提供する。

④外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催しているほかYAHOO! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整、システムの維持・保全に加え、トーキョーシネマショー、優秀外国映画輸入配給賞、「映画館に行こう！」実行委員会キャンペーンなどのイベントを共同して行っている。

(5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を行う。

① 各種映画祭

これまで東京国際映画祭をはじめ、神戸100年映画祭、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また「映画の日」など映画各団体が実行する催事に対する協力を行う。さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムフェスティバル、フランス映画祭等海外の映画紹介への協力を行う。

(6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

①映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議する他、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE映画泥棒」キャンペーンと連携を取って映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

②会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談や聞き取りを通して最善の対策を講じていくことを目指す。又会員各社からの問題提議に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

(7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会審議議題

○第37回理事会（4月17日開催）

<審議・承認事項>

第36回（3月）理事会議事録承認の件

3月収支月次報告の件

平成26年度決算の件

平成27年度事業計画の件

平成27年度予算の件

任期満了理事・監事の件

「Bonobo企画」（仮）準備会参加の件

「第28回東京国際映画祭」後援名義依頼の件

「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015」後援名義依頼の件

「MPTE AWARDS 2015」後援名義依頼の件

<報告事項>

その他

○第38回理事会（6月5日開催）

<審議・承認事項>

第37回（4月）理事会議事録承認の件

4月、5月収支月次報告の件

平成27年度理事選任の件

JCG（ジャパン・コンテンツ・グループ）入会の件

「第8回したまちコメディ映画祭 in 台東」後援名義申請の件

「あいち国際女性映画祭2015」後援名義申請の件

「山形国際ドキュメンタリー映画祭2015」後援名義申請の件

<報告事項>

JASRACの件

トーキョーシネマショー2015の件

その他

○第39回理事会（7月17日開催）

<審議・承認事項>

第38回（6月）理事会議事録承認の件

6月収支月次報告の件

就業規則一部改定の件

「第20回神戸100年映画祭」後援名義申請の件

「Japan Content Showcase 2015」後援名義申請の件

「第2回京都国際映画祭」後援名義申請の件

<報告事項>

トーキョーシネマショー2015の件

(株)エプコット債権者集会報告の件

その他

○第40回理事会 (9月18日開催)

<審議・承認事項>

第39回(7月)理事会議事録承認の件

7月、8月収支月次報告の件

賛助会員新規入会の件

「第7回京都ヒストリカ映画祭」後援名義申請の件

<報告事項>

トーキョーシネマショー2015終了報告の件

第54回優秀外国映画輸入配給賞の件

その他

○第41回理事会 (10月16日開催)

<審議・承認事項>

第40回(9月)理事会議事録承認の件

9月収支月次報告の件

<報告事項>

JASRAC会議報告の件

「映画館に行こう！」実行委員会の件

その他

○第42回理事会 (11月20日開催)

<審議・承認事項>

第41回(10月)理事会議事録承認の件

10月収支月次報告の件

賛助会員新規入会の件

「午前十時の映画祭7」後援名義申請の件

外配協入会申請時の要件等検討の件

<報告事項>

平成28年年頭名刺交換会の件
その他

○第43回理事会（1月15日開催）

<審議・承認事項>

第42回（11月）理事会議事録承認の件

11月、12月収支月次報告の件

賛助会員新規入会の件

「第11回大阪アジア映画祭」後援名義申請の件

「第8回沖縄国際映画祭」後援名義申請の件

<報告事項>

平成28年年頭名刺交換会終了の件

平成27年外面概況の件

（株）エプコット債権者集会報告の件

その他

○第44回理事会（2月19日開催）

<審議・承認事項>

第43回（1月）理事会議事録承認の件

1月収支月次報告の件

賛助会員新規入会の件

「入会要件」変更提案の件

全興連「差し入れ書」の件

<報告事項>

第54回優秀外国映画輸入配給賞の件

その他

○第45回理事会（3月18日開催）

<審議・承認事項>

第44回（2月）理事会議事録承認の件

2月収支月次報告の件

賛助会員新規入会の件

平成27年度仮決算の件

平成28年度事業計画案の件

入会要件変更案の件

全興連「差し入れ書」検討の件

<報告事項>

その他

2) 会員定例会審議議題

○4月会員定例会（4月17日開催）

3月会員定例会議事録承認の件

3月事業報告承認の件

平成26年度決算の件

平成27年度事業計画の件

平成27年収支予算書の件

後援名義使用許諾報告の件

① 第28回東京国際映画祭

② MPTE AWARDS 2015

③ SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2015

第53回優秀外国映画輸入配給賞授賞式終了の件

その他

○6月会員定例会（6月5日開催）

4月会員定例会議事録承認の件

4月、5月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2015の件

後援名義使用許諾報告の件

① 第8回したまちコメディ映画祭 in 台東

② あいち国際女性映画祭2015

③ 山形国際ドキュメンタリー映画祭2015

その他

○7月会員定例会（7月17日開催）

6月会員定例会議事録承認の件

6月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2015の件

映画館に行こう！実行委員会「サマシネ2015」報告の件

後援名義使用許諾報告の件

① 第20回神戸100年映画祭

② Japan Content Showcase 2015

③ 第2回京都国際映画祭

その他

○9月会員定例会（9月18日開催）

◆Japan Content Showcase 2015について

Japan Content Showcase ディレクター 高木文郎氏

◆第28回東京国際映画祭の概要について

東京国際映画祭 ディレクター・ジェネラル 椎名 保氏

7月定例理事会議事録承認の件

7月、8月事業報告承認の件

トーキョーシネマショー2015終了の件

第54回優秀外国映画輸入配給賞の件

JASRAC問題現状報告

その他

○10月会員定例会（10月16日開催）

◆新規入会会社紹介と挨拶

株式会社パルコ

エンタテインメント事業部担当執行役員 井上 肇氏

◆V I P Oアカデミーについて

V I P Oジャパン・コンテンツ海外展開事務局

統括部長 森下美香氏

V I P O特務担当MG 白石 旭氏

9月会員定例会議事録承認の件

9月事業報告承認の件

「映画館に行こう！」実行委員会の件

後援名義使用許諾報告の件

① 第7回京都ヒストリカ国際映画祭

その他

○11月会員定例会（11月20日開催）

10月会員定例会議事録承認の件

10月事業報告承認の件

「第28回東京国際映画祭」終了報告の件

後援名義使用許諾報告の件

① 「午前十時の映画祭7」

その他

○1月会員定例会（1月15日開催）

◆新規加入会社紹介と挨拶

株式会社トランスフォーマー 代表取締役 石毛栄典氏
1 1月会員定例会議事録承認の件
1 1月、1 2月事業報告承認の件
平成28年年頭名刺交換会終了報の件
平成27年外画概況の件
後援名義使用許諾報告の件
① 第11回大阪アジア映画祭
② 第8回沖縄国際映画祭
その他（「第60回映画の日」パンフレット）

○2月会員定例会（2月19日開催）

◆新規加入会社紹介と挨拶

株式会社ファインフィルムズ 代表取締役社長 加藤義久氏
株式会社シンカ 代表取締役 スー-Jun氏
株式会社吉本興業 株式会社 KATSU-do 代表取締役 片岡秀介氏
1月会員定例会議事録承認の件
1月事業報告承認の件
第54回優秀外国映画輸入配給賞の件
2015年全国映画概況(映連資料)の件
その他

○3月会員定例会（3月18日開催）

◆新規加入会社紹介と挨拶

東和ピクチャーズ株式会社 代表取締役社長 星野智彦氏
2月会員定例会議事録承認の件
2月事業報告承認の件
平成27年度仮決算の件
平成28年度事業計画案の件
その他（「午前十時の映画祭7」チラシ）

- 3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会、国際部会の開催理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のための一般会議が行われた。

○宣伝部会

4回（9月28日、11月24日、1月19日、3月28日）

○営業部会

4回（9月29日、11月25日、1月21日、3月29日）

○製作＝渉外部会

4回（9月25日、11月26日、1月22日、3月30日）

○総務・経理合同部会

4回（9月28日、11月26日、1月13日、3月25日）

○国際部会（4月2日）

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

4回（4月13日、9月25日、11月26日、1月22日）

5) 外画宣伝部長会の開催

8回（4月28日、6月9日、7月23日、9月28日、11月24日、
12月10日、1月19日、3月28日）

Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

平成27年外国映画作品目録を平成28年1月に発行。平成27年外画概況—国別、会社別—を7月(上半期)と1月に発行。作品目録ならびに外画概況は別添。なお、各種資料は完成後すぐに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第54回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度(1962年)から通商産業省(現経済産業省)の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も平成27年度で54回を迎えた。第54回同賞は平成27年4月1日から平成28年3月31日迄の1年間に作品的に優秀で、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、8名(別項表示)の審査員により審査がおこなわれ、各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、10月7日(水)に開催され、第54回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長に秋山登氏、副委員長に渡辺祥子氏の就任が決定した。

審査員： 秋山登、明智恵子、大高宏雄、恩田泰子、佐伯知紀、
佐藤雅昭、村上光一、渡辺祥子 (五十音順)

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月3日(水)午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員7名出席のうえ開かれた。秋山審査委員長から、審査の基本方針につ

いて説明が行われ、外国映画輸入配給協会が作成した2015年度「外国映画作品目録」を資料に、審査対象会社102社（当協会会員会社25社、MPA加盟会社5社、その他72社）を1社ずつ配給した全作品を検討しつつ審議を行った結果、最終審査会には以下が選ばれた。

- 株式会社KADOKAWA
- 株式会社キノフィルムズ
- ギャガ株式会社
- 東宝東和株式会社
- ニューセレクト株式会社
- 株式会社ポニーキャニオン
- 有限会社ロングライド
- ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
- 20世紀フォックス映画
- ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社
- 株式会社クレストインターナショナル
- 株式会社シンカ
- 株式会社セテラ・インターナショナル
- 有限会社ムヴィオラ

第2回審査会（最終審査会）

最終審査会は3月23日（水）午後12時より如水会館会議室において開かれた。平成27年4月から平成28年3月末日までに公開された作品リストをもとに、第1回審査会で選ばれた14社の審査を行った。秋山委員長以下計8名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定した。

<最優秀賞>

- ギャガ株式会社

「セッション」「黄金のアデーレ 名画の帰還」「ヘイトフル・エイト」

今年度も作家性の強い作品から娯楽性にとんだ作品まで幅広くラインアップし、積極的に外国映画を配給しました。若きドラマーと鬼教師の間の圧倒的な緊張感の迸る「セッション」をはじめ、クリムトの絵画を巡る実話を基にした秀作「黄金のアデーレ 名画の帰還」、クエンティン・タランティーノ監督の密室ミステリー「ヘイトフル・エイト」といずれも作品毎の特徴を生かし戦略的に作品を提供しています。長年に渡り個性豊かな外国映画を多くの日本の映画

観客に送り続けてきたその功績を高く評価する声が多く、今回の受賞につながりました。

<優秀賞>

○20世紀フォックス映画

「バードマン あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）」

「ブリッジ・オブ・スパイ」「オデッセイ」

今年度米国アカデミー賞作品賞に輝いた「バードマン あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）」、巨匠スティーブン・スピルバーグ監督の信念が刻まれた人間ドラマ「ブリッジ・オブ・スパイ」など話題作を配給し、さらにユーモア溢れるSF映画「オデッセイ」を営業・宣伝の努力により予想を上回る大ヒットに結び付けました。素晴らしい外国映画を幅広い層の観客に提供した功績により受賞が決まりました。

<奨励賞>

○株式会社シンカ

「ホワイト・ゴッド 少女と犬の狂詩曲」「独裁者と小さな孫」

「ストレイト・アウタ・コンプトン」

観客に衝撃を与えるような作品選定、配給姿勢に審査員一同から感嘆の声が上がりました。カンヌ国際映画祭「ある視点」部門グランプリ受賞のハンガリー映画「ホワイト・ゴッド 少女と犬の狂詩曲」、イラン出身の監督が描く「独裁者と小さな孫」、アメリカの伝説的ヒップポップグループを描く伝記映画「ストレイト・アウタ・コンプトン」といずれも観た人の心を揺り動かす秀作を提供しました。貴社の情熱と勇気ある姿勢に敬意を込め、今後も鋭い感性で映画を送り続けてくれることを期待しここに賞を贈ります。

○株式会社キノフィルムズ

「アリスのままで」「パディントン」「母よ、」

映画ファンの心を掴むラインアップを揃え、精力的な営業・宣伝姿勢で観客に作品を送り届けました。ジュリアン・ムーアの熱演が心を揺さぶる「アリスのままで」に感嘆の声が上がり、世界中で愛されるクマが主人公の「パディントン」の大胆な宣伝は話題を呼びました。またイタリアを代表する監督ナンニ・モレッティの「母よ、」をはじめ良質な人間ドラマに目を配り買付しています。今後も世界中から上質な作品を提供し続けてほしいとの期待を込めてここに

賞を贈ります。

授賞式は平成28年4月20日（水）内幸町イイノホールにて開催された。

2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第60回「映画の日」運営に協力した。

第60回「映画の日」特別功労章受賞者（当協会推薦者）

氏名	職業
戸田奈津子	映画字幕翻訳家

第60回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）

氏名	会社名	役職名
岩川 勝至	パラマウントジャパン合同会社	制作部部长
壺井 正	グロービジョン株式会社	日本語吹替版ディレクター
邊見 市雄	グロービジョン株式会社	映写技師

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー」の開催

20回目の開催を迎え、「トーキョーシネマショー2015」は以下の通り開催された。

会場：イイノホール

会期：9月8日（火）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン
NPO法人映像産業振興機構

プログラム

○パネルディスカッション

『映画ファンの育て方』

特別ゲスト：千 秋 氏（タレント・デザイナー）

パネリスト：牧 和男氏（イオンエンターテイメント株式会社

代表取締役社長）

：高井 英幸氏（東宝株式会社 相談役）

司会進行：笠井 信輔氏（株式会社フジテレビジョン アナウンサー）

○懇親会

パネルディスカッションに出席の興行、配給他関係者との懇親会が行われた。

2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資する事を目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の平成27年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

- (1) 映画館での盗撮防止への継続的活動
- (2) 上映時間データベース及びYAHOO! 予告編サイトの継続による観客利便性の拡充
- (3) サマシネ2015・・・全国劇場に於いて期間中キャンペーン参加作品をみてツイートするとムビチケをはじめ様々な商品が当たるキャンペーンを実施した。
- (4) 平成27年3月1日より新たな取り組みとして、ツイッター社とのコラボレーション企画「映画ツイートデイ」キャンペーンをスタートさせた。毎月1日を「映画ツイートデイ」とし、映画を見た人の感想や周辺情報の速やかな拡散を図ることにより観客の増加に結び付けていくことを主眼としている。この立ち上げから利用を促進するため、カメラ男・パトランプ男も参加してスタートキャンペーンを行った。又ツイッター参加者への抽選によるプレゼントも行われた。

3. 東京国立近代美術館フィルムセンターへのフィルム寄贈

当協会会員会社から東京国立近代美術館フィルムセンターに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て、日本（東京国立近代美術館フィルムセンター）にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが、重要な仕事であると認識して、各社が努力している。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

外国映画輸入配給事業の健全な発達を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として、平成28年1月5日（火）品川プリンスホテルにて、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の協力のもと「年頭名刺交換会」を開催した。日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア等関係者777名が参加した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業38社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他年間を通じて主に以下のような活動を行った。

① 定例会合（年4回）

② 研修会

（1）夏季研修会

日時：平成27年7月22日（水）14時より15時30分

場所：IMAGICA 第1試写室

議題：映像を取り巻く環境における現状と動向

～テープレス化からIMFによる流通、そしてHDR～

講師：株式会社IMAGICA

プロビジョニングカンパニー

カンパニーマネージメント室マーケティンググループ

清野 晶宏 氏

「バリアフリー上映の今後」

講師：NPO法人 メディア・アクセス・サポートセンター

理事・事務局長 川野 浩二 氏

(2) 秋季研修会

日時：平成27年11月12日（木）14時30分～17時

会場：東京国立近代美術館 フィルムセンター 相模原分館

内容：フィルムセンターの行っている活動の中心的な事業ともいえる現存するフィルムの収集・保存の最新設備として機能している相模原分館を訪ね、一定の温度に保たれた保存庫内部を見学させて頂き、収集されたフィルムの修復作業の見学・及び作業を行っている方達に直に話しをお聞きした。又戦前の個人所有の8mm映像等の可燃性フィルムの保管庫も見学させて頂いた。今後は保存しているフィルムの公開をめざしその活動を広げている様子を目の当たりに見る事ができた。

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）加盟会社、映連加盟会社他合計38社の宣伝部長で構成される宣伝部長会（8回）を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客の増大に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。一般社団法人映画製作者連盟と協力して、2012年度まで実施してきた映画ジャーナリスト・宣伝部合同年賀の会は、会費面と参加人数の減少等の問題を抱えながら続けてきたが、本年度は一端休止し新たな形を模索してゆくこととなった。また「映画館に行こう！」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO！予告編サイトについて改良、改善に努めたほか、同実行委員会が主催した「サマシネ」の実行部隊として活動した。又本年3月から1年間の予定で始まった「映画ツイートデイ：キャンペーン」のスタートイベントにも参加した。

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第28回東京国際映画祭運営に協力をし、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。トーキョーシネマショーは第28回東京国際映画祭提携企画となった。

平成27年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
第三回 新・午前十時の映画祭	平成27年4月 6日(土)～ 平成28年3月18日(金)	全国54の映画劇場
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2015	平成27年 7月18日(土) ～ 7月26日(日)	SKIPシティ 他
あいち国際女性映画祭 2015	平成27年 9月 1日(火) ～ 9月 6日(日)	ウィルあいち 他
第8回 したまちコメディ映画祭 in台東	平成27年 9月18日(金) ～ 9月22日(火)	台東区 (浅草地区・上野地区)
第28回 東京国際映画祭	平成27年10月22日(木) ～10月31日(土)	六本木ヒルズ 他
山形国際ドキュメンタリー 映画祭2015	平成27年10月 8日(木) ～10月15日(木)	山形市中央公民館、山形 市民会館、市内映画館他
Japan Content Showcase2015/ TIFFCOM2015/TIMM	平成27年10月20日(火) ～10月22日(木)	ホテル グランパシフィ ック LE DAIBA
MPTE AWARDS 2015	平成27年10月28日(水)	六本木アカデミーヒルズ
第20回 神戸100年映画祭	平成27年11月 2日(月) ～11月15日(日)	新長田ピフレホール、 神戸アートビレッジセン ター
第7回 京都ヒストリカ国際映画祭	平成27年10月31日(土) ～11月 8日(日)	京都文化博物館、東映京 都撮影所、松竹撮影所 他
第11回 大阪アジア映画祭	平成28年 3月 4日(金) ～ 3月13日(日)	梅田ブルク7、 ABCホール 他

3. 各種映画賞運営に協力

第39回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第70回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催の第58回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。

この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう!」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。

平成22年1月および23年1月からは著作権法一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。2011年以降一般社団法人日本音楽著作権協会と全国興行生活衛生同業組合の間で協議を重ねている、映画の上映使用料問題交渉においては、毎回オブザーバーとして参加し全興連と共同歩調を取りながら、公平な負担を求めると共に映画業界全体としての問題解決に向かって各関連団体との協議を重ねた。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上